馬　耳　東　風

ふと気づくとすっかり秋も深まってきた．今日は月曜日．休日明けのせわしなさの中で午後にこの原稿を書いている．いつもであれば金木犀の甘い香りで深まる秋，そして季節のうつろいを感じるのだが，今年は気候変動の影響かその香りにほとんど触れていないことに気がついた．これは都内に住む筆者だけが感じることなのだろうか？ 昨今の集中豪雨，酷暑をはじめとした気象状況から，大切な日本の四季のありさまが少しずつ変わってゆくことを感じざるを得ない．

さて，本稿が掲載されるのは12月号ということで2024年を振り返ってみたいと思う．会員諸兄にもいろいろな思いがあると思うが筆者の個人的な見解ということでお許しをいただきたい．

まず国内に目を向けてみると元旦早々に発生した「令和6年能登半島地震」．石川県能登地方で発生したマグニチュード7.6の地震によって輪島市や珠洲市で甚大な被害が報告され，多くの建物が倒壊し，液状化や土砂崩れ，広範囲のインフラ損壊も確認され激甚災害指定を受けるに至った．さらに7月下旬から8月初めにかけて日本各地で線状降水帯が発生し，特に秋田県にかほ市や山形県酒田市などで記録的な豪雨による甚大な被害があり，政府は災害救助法の適用を決定し，復旧活動が進められた．わが国は，その地理的及び気象的な要因により，地震や津波，台風，大雨，火山噴火など，さまざまな自然災害のリスクにさらされていることをあらためて実感させられた．まさに明日はわが身と思うと共に被害に遭われた方々の一日も早い日常生活への復帰を心から祈るばかりである．

経済をみてみると2024年，日本の名目GDPは世界第3位から4位に後退した．しかし実質成長率では日本の順位はさらに下がる傾向があり，成長率では多くの新興国に追い抜かれている状況も看過できない．

また日銀は長年続いたマイナス金利政策を解除し，短期金利を「0.25％程度」に引き上げる一方，長期国債の購入も減少させる方針とし，金融市場の正常化と急激な円安が抑えられることを期待したが，一方で輸入品価格の上昇とエネルギーコストの上昇，企業の資金調達コストを引き上げる可能性も含んでおりその舵取りは非常に難しい．

そして先日投票の行われた第50回衆議院総選挙．自民党と公明党による与党が過半数を割り込み，選挙後の新たな政局の動向が，今後の国内政策や外交にどのような影響を与えるか興味深く見守りたい．

そして海外に目を向けてみると，ロシアのウクライナ侵攻，イスラエル・ハマス間の対立，スーダンの内戦，ミャンマー内戦，サヘル地域の不安定化等世界の各地で未だ紛争が後を絶たない．これらはその地域の問題だけではなく世界中の国際情勢にも影響を与え，今後深刻な国際紛争に結びつかないよう注視して行かなければならない．

またAIの発展が急速に進む一方で，AIによる倫理的な問題やデータの悪用に対する懸念が高まり，各国で規制の必要性が議論されている．特に，ジェンダーや人権に関するオンラインハラスメントのリスクに対し，国連などの国際機関も新たな規制の枠組みを提案してきている．

そしてなんといっても先般行われたアメリカ大統領選挙，4年ぶりにトランプ氏が第47代大統領に返り咲いた．この結果がアメリカ国内のみならず，国際政治，経済，環境政策に広範囲な影響を及ぼす可能性があり，各国がその動向を注視している．

さまざまな出来事が起こった2024年ではあるが，本稿が会員諸兄の手元に届く年末には新しい年に向かって少しでも世界が希望を持って進む空気に包まれることを大いに期待する．

本年もお疲れさまでした．　（も）